

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しながくどう宮崎		公表日		令和8年 3月 23日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	職員の適切な人数がわからない 手が空いてるスタッフで助け合い	職員配置の基準や適正人数について職員間での理解に差があるため、配置基準の共有や役割分担の明確化が必要である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	スロープ、車椅子の入るトイレがある トイレが足りていない	トイレ数の不足等、設備面での課題があるため、利用状況に応じた動線の工夫や使用時間の調整等により環境改善を図る必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	個室を利用して落ち着くスペースがある	概ね良好な環境は維持されているが、活動内容に応じた空間設定の見直しや更なる快適性の向上が求められる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	それぞれがクールダウンできるような環境になっている	個別対応の環境は整っているため、引き続き児童の状況に応じた柔軟な活用と環境維持が必要である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	月に1度のミーティングを行い、情報共有を行う場を作っている	ミーティングは実施されているが、全職員が主体的にPDCAに参画できるよう、意見発信の機会や振り返りの仕組みを強化する必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者会などを行い、意見交換の場を行っている	保護者の意見は把握できてきているため、今後はその内容をより具体的な改善につなげる仕組みづくりが必要である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	役職者会議への参加は良い流れ。発言しやすい雰囲気も大切。 ミーティング等により情報の共有を行っている	意見交換の場はあるが、全職員が均等に意見を出せる環境づくりや、意見を反映するプロセスの明確化が必要である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	外部評価は必要だと思う	外部評価の導入や第三者視点での評価機会が不足しているため、今後は外部評価の活用を検討する必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	定期的に行われている	研修機会は確保されているため、今後は内容の充実や個々のスキル向上につながる実践的な研修の強化が求められる。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	個別支援計画書を作成し、保護者同意のもと実施している	支援プログラムは作成されているが、より分かりやすい形で公表や職員間での理解の統一が必要である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		アセスメントは実施されているが、評価の視点や方法の統一を図り、より客観的な分析につなげる必要がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	職員同士で情報の共有や、カンファレンス等実施し作成を行っている	カンファレンスは実施されているが、全職員の関与をさらに高め、共通理解をより深めることが必要である。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		計画の共有にばらつきがあるため、職員間での情報共有方法の見直しと徹底が必要である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3		標準化されたアセスメントツールの活用が十分でないため、ツールの導入や活用方法の共有が必要である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	個別支援計画書の中に含まれている	適切に実施されているが、支援内容の理解をさらに深めるための職員間の共有強化が必要である。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	定期的なカンファレンスの実施 各々頑張ってる	活動プログラムの立案に関して、個人に依存する部分があるため、チームでの計画作成体制の強化が必要である。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	半年に一回計画書の更新を行なっている 療育スタッフのローテーションができています	活動の工夫はされているが、より計画的かつ 継続的なプログラム改善が求められる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		適切に実施されているが、個別・集団のバラ ンスについて更なる検討が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		支援前の打合せが十分でない場合があるた め、全職員での事前共有の徹底が必要であ る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	その日に行った内容の記載を行っている	振り返りは実施されているが、短時間でも確 実に共有できる仕組みづくりが必要である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	8	0		記録は実施されているため、今後は記録の質 の向上と活用の強化が必要である。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		適切に実施されているが、モニタリング内容 の更なる質の向上が求められる。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	7	1	個人個人に合った支援を行っている	概ね実施されているが、ガイドラインの理解 をより深めた支援の展開が必要である。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		適切に実施されているが、自己決定支援の場 面をさらに増やす工夫が必要である。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	日常の中で情報の共有などを行っている	適切に実施されているが、関係機関との連携 内容の共有を更に強化する必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		連携体制はあるが、より積極的な関係構築や 情報交換の機会を増やす必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	8	0	保護者や、関係機関との情報共有を行って	適切に実施されているが、情報共有の精度向 上求められる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		適切に実施されているが、より具体的な情報 共有の充実が必要である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	6	2		移行支援に関する情報提供にばらつきがある ため、統一した対応の整備が必要である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		専門機関との連携やスーパーバイズの機会が 不足しているため、積極的な活用が必要であ る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	4	4	詳しくはわからない	地域交流の機会が不足しているため、安全面 に配慮しつつ交流機会の検討が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		積極的な参加体制の整備が必要である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	8	0	日頃から情報の共有は行っている	適切に実施されているが、共有内容の更なる 充実が求められる。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	7	1	半年に1度の面談や会議の場を設け行なっ ている	家族支援は実施されているが、参加しやすい 工夫や支援内容の充実が必要である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	8	0	面談の際に計画書の説明を実施している	適切に実施されているため、今後も継続が必 要である。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	カンファレンスや面談	適切に実施されているため、今後も丁寧な対 応の継続が必要である。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	説明を行った後に保護者からの同意のサイン を行なっている	適切に実施されているため、引き続き継続が 必要である。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	8	0		適切に対応されているが、相談しやすい環 境づくりの更なる強化が必要である。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者交流の機会に参加しにくい状況があるため、参加方法や開催方法の工夫が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	職員間で共有し、対応を行なっている	適切に対応されているため、今後も迅速な対応の継続が必要である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		情報発信は行われているが、より分かりやすく継続的な発信が求められる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		適切に実施されているため、継続した管理が必要である。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		適切に配慮されているため、引き続き継続が必要である。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域との関わりが不足しているため、地域に開かれた取り組みの検討が必要である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的に児童との避難訓練を実施している	適切に実施されているが、周知や実践的な訓練の更なる充実が必要である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的な訓練を実施している	適切に実施されているが、BCPの理解促進と実効性の向上が求められる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		適切に実施されているが、情報共有の徹底が必要である。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	昼食の際は机を分けて食事を行っている	概ね適切であるが、対応手順の統一や確認体制の強化が必要である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		安全管理は実施されているが、研修や訓練の更なる充実が必要である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		周知にばらつきがあるため、保護者への情報提供の強化が必要である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットがあった際には記載し、残るようになっている	適切に実施されているため、今後も継続し、分析と再発防止策の強化が必要である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		適切に実施されているため、継続した研修と意識向上が必要である。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		適切に実施されているため、引き続き丁寧な説明と適切な運用の継続が必要である。	